

中学校の学習について～自立した学習者を目指して～

1)生活リズムを確立し、授業に集中できる準備を行う

よりよい学習には、体力と気力が必要です。十分な睡眠、食事により、学習に集中できるコンディションを整えられるよう声がけをお願いします。

2)授業で大切にすること(二中では以下の力を育みます)

- ①よく聴き、自分の頭で考え、発言するという主体的に学習に取り組む力を育てます。
- ②自ら問いを見出し、探究することのできる力を育成する。
- ③仲間の話に耳を傾け、互いの考えを認め合い、協力して共に学ぶ態度を育てます。
- ④ICT を活用した個別最適な学習、協働的な学習を目指します。

3)「課題をやりきる力」「学びを調整する力」を身につける

- ①「学習ガイド」等を活用し、授業の復習を進めます。
- ②学校と家庭をつなぎ、力を定着させるための家庭学習の習慣を身に付けます。
- ③自分は何が分かって、何が分からないのか、授業の振り返りを通して明確にし、自主学習ノートやキュビナなどを活用して調整する力をつけます。

4)スケジュールリング力を身に付ける

- ①部活動やクラブなど、授業後の予定を把握し、計画性をもって家庭学習に取り組む力を身につけます。
- ②「To do リスト」を活用し、やるべきことを学校でリストアップし、計画的に家庭学習に取り組めます。家庭学習に必要な教材は、自分で考え、家に持ち帰ります。

5)中学校卒業後の進路を見据えた学習をすすめる

- ①中学校で義務教育は終わります。これから始まる3年間で、少しずつ自分の特性や将来の夢などと向き合い、卒業後の進路を見据えながら学習に取り組んでほしいと思います。また、来年度の公立高校で特色選抜が始まるなど、高校入試も年々変化しています。ニュース等の情報をもとに、親子で関心を持っていただけたらと思います。
- ②中学校の評価は、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体的に取り組む態度」3観点で行われます。定期テストだけでなく、単元テストや、日々の授業への取り組み状況、レポートや振り返りの状況をもとに成績をつけます。